ふかまちのまど
第十三号
九五年五月一日

ご挨拶

町内会連合会会長　小林徳蔵

皆さま、お変わりありませんか。

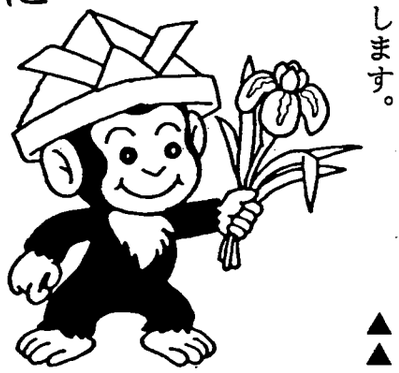
ご承知のようにわが町の人口は増加しつつあり喜ばしい限りです。新しくおいでくださった方々、こころから歓迎申し上げます。この度、総会で町内会連合会会長に選ばれた小林徳蔵です。ご挨拶申し上げます。

世をあげてリストラ（再構築）の時代に、ここ二ケ年に深町は対外的には着実に地歩をかためました。それは「統一した深町の姿」を内外に印象づけた学園橋開通式と、ようやく軌道に乗った県道改良計画の二つで明らかです。これは初代会長高崎修氏の業績であることは言うまでもありませんが、ご協力ご支援くださった多数のみなさんの功績でもあります。

町内会連合会は「学園を軸としたあたらしい町づくり」をモットーとしてまいりました。わたしはこの合言葉を今後も継承し、努力を続けていくつもりです。

まず、第一は、旧保健体育振興会がはたしてきた役割を継承するために、特に体育部を充実させていきたいと思います。第二は、交通安全と交通マナーの昂揚をはかります。第三に意志の疎通をはかります。新しくおいでになった方々とのコミニケーションにも留意します。

深町は、いま、こころのリストラが要求されていると思います。皆さまのお力を連合会にお貸しくださいますようお願いいたします。地元市議の議席も確保できる体制は整ってきました。前会長と同様にご支援くださるようよろしくお願いいたします。▲▲



アジア大会に
語学ボランティアで参加して

東峠　兼長和幸

昨年十月二日から十六日までの十五日間、広島市を中心に県内四十三会場で行われた第十二回アジア競技大会広島１９９４は、大会史上初の地方都市開催となり、四十二の国と地域が参加し、史上最多の三十競技、三百五十七種目で熱戦が繰り広げられ、アジア各国から選手、役員七千三百人が広島に集いました。

広島アジア大会は、県東部でも五種目が開催され、私が語学ボランティアとして参加した三原会場はフェンシング八種目が八日間行われました。

フェンシングは、中世ヨーロッパで発展した刀剣の闘争術がスポーツ化され、西洋の剣道とも言われます。

私は、フェンシングのハングル語（韓国語、朝鮮語）通訳として参加したものゝフェンシングについての競技知識は殆どなく、大会前から期間中も競技の勉強をしながら会場に通い、会場では、入賞式の説明、ドーピング検査や記者会見場への案内、等を受け持ちました。

この大会はロシア語通訳者が不足で、競技場に配置しておらず、委員会も頭痛の種でしたが、少しの英語と中国語でボディラインゲージを駆使して、原始人顔負けの会話？でとても楽しく奉仕させていただきました。

また、この期間中、各国の選手、役員等とも交流することができ、中でも圧倒的な強さを誇る中国、韓国そして初参加の中央アジアの強豪であるカザフスタンの選手と、このボランティアを通じて友好親善に微力ながら手助けできたことに感謝しています。

今後、このような機会があったら是非参加したいと考えています。▲▲

尚寿会春季旅行記

尚寿会会長　金堀伍一

「旅は道連れ世は情」と古語に言はれている。旅は見る、聞く、学ぶ道連れである。仲間との触れ合いがある。私はこの意味で仲間の期待に添えるべく努力している。私も尚寿会のお世話をして十年の節目を迎える。今期は役員改選がないので総会は車中でなごやかな中に終了。

旅行目的地は山口県萩市。四月六、七日の二日の旅。六日午前九時大池出発。バスは同じ系列の岡山県湯原温泉松の屋ホテルの車。運転する沢口さんはまだ若く、温厚な感じのよい方。こちらの無理なお願いをかなえてくださった。

バスは新車同然、安全運転で快適、行きは岩国の錦帯橋見学をお願いした。ホテルまでの途中、沢口運転手の好意で古い史跡を見せていただいた。

夕食・宴会二時間は飲み放題。ホテル社長自から挨拶。日本舞踊は仲居さん三人の出しもの。そして会員の隠し芸と、かってない盛り上がりであった。

七日、食前に社長さんの好意で萩の古い町並をマイクロバスで案内していただいた。博学な説明が印象として残る。最後に「今の若い親は愛と躾を忘れている。鳩に三枝の礼あり。三尺下がって師の影を踏まずはどこにいったのか」と。

七日九時ホテルを後にする。途中広島商工センターのアルパーク水族館へ。館の好意で裏方も案内していただいた。▲▲

いのちのお誘い

生ごみの処理にコンポストを利用していますが、特に夏場は生ごみから発生する悪臭や虫が気になりますね。ところが今話題のぼかし（発酵促進剤）を混ぜると、悪臭は消え虫もわかず、しかもできた堆肥で作った野菜はおいしいのです。そのぼかしの作り方の講習会を開きますので参加ください。

★ぼかし作り

時　五月十四日（日）　午後一時
所　深町民会館

女性会。

ダム放水のお知らせ

深町水利組合組合長　石井静夫

四月二十八日開催の総会で、ダム放水は、五月十三日と決まりましたのでご連絡します。

招待野球試合

如水館高校は、五月七日（日）関西学院を招き、同校グラウンドで試合を行ないます。観戦してください。

いらっしゃいませ

☆中嶋一浩様　東峠　六年八月
☆竹内利広様　中峠　七年四月

町内各種団体行事予定

★小学校
▼小運動会六日　▼参観日・PTA総会十九日
★女性会
▼親睦会　下五月五日・中六日　上二十七日
★消防団
▼分団長会議　五月二十五日
★子供会
▼世代交流町民ゲートボール大会　五月十四日
★尚寿会
▼世代交流県ゲートボール大会　五月二十一日

連合会からのお願い

今年度から連合会会費として、一世帯五十円／月の出費をお願いいたします。ご了承ください。

展望席

子供が親より優れていることをたとえてトビがタカを生むという。自然界では子供は親の遺伝子を克明に複写して受け継ぐ。トビの子供はあくまでトビでタカを生むことはできない。しかし、トビの子供はトビが永遠の真理だとすると、生物の進化は説明できない▼何らかの原因で遺伝子が変化するから進化が起る。宇宙線、ウイルスなど遺伝子を変化させる原因は多い。その中で、進化と関係するのは、子供が親の遺伝子を転写するときのミスらしい。生物はある確率で転写ミスをするように仕組まれており、それが進化を支えてきた。▼制度でも予算配分でも前例を踏襲すれば社会は安定する。しかし、生物の原理からみると、前例の踏襲ではトビがトビを生むしかない――。（三・二八日　日経春秋）

▼こんな記事に接すると蛙の子のオタマジャクシは天を仰ぐのみだが、進歩・改革は伝統や常識の見直しが出発点である。それは発想の転換と創造なくしてはあり得ない。転写ミスに期待

配付先→上組７５・中組１３４・下組５３、小学校。郵便局。ＪＡ支所。如水館高校。駐在所。外部１０。計２６７部